

①活動概要

「道南追分ルート」は、自然・食はもとより歴史に恵まれた地域であり、2015年の新幹線（木古内・函館）開業に向け、1999年より自然・食・歴史をテーマにした参加型イベントである殿様街道ウォークを実施している。

②活動の体制

千軒地域活性化実行委員会を立ち上げボランティア（森の名人・歴史研究会・野鳥の会・千軒そばの会・松前神楽保存会）やとともに魅力ある広域連携にむけ取り組んでいる。行政（国有林・道有林）の協力をいただいている。

③苦勞した点や工夫した点

多くの地域ボランティアの支援が無ければ成立しない。自立できるまで育てるのが苦勞。他ルートとの連携が課題。

④活動の効果

主催することで地域の豊かさを強く認識した。また各地のイベントを意識し、連携の可能性を感じた。

⑤今後の活動

エリア全体には様々な歴史資源があり、各地域でその掘り起こしがなされている。歴史・食など同一資源の活動地域を連携させ、活動及び参加しやすい仕組みづくりや広報活動をすすめたい。



様式3 (◆候補ルート)

ベストシーニックバイウエイズ・プロジェクト2009

ルート名	どうなん・追分シーニックバイウエイルート
活動の名称	殿様街道ウォーキング～歴史がつなぐ交流のみち～
活動時期	平成21年度(毎年実施)
評価の視点	①活動の目的・内容の分かりやすさ、②ルートとしての目標の共有、 ③幅広い参加、連携への可能性(地域住民、各種団体、民間、行政等) ④シーニックバイウエイ北海道の活動として今後の展開の可能性(地域資源の 発掘・活用・人材の発掘・育成、活動の継続等)
<p>1. アピールポイント</p> <p>1) 道南は北海道の歴史の原点であり、古くは縄文、中性の館、松前藩、そして戊辰戦争など様々な歴史資源の宝庫である。</p> <p>2) 各地域ではこれまでその歴史資源の発掘とまちづくりの活用を行っている。</p> <p>3) 歴史には必ず「道」「人」「交流」が関わっている。</p> <p>4) 特に、全時代的に様々な歴史の道づくりが行われている。 ※木古内の咸臨丸の道 ※知内の小谷石の道 ※福島の殿様街道 ※松前の白神山道 ※厚沢部の館城の道 ※江差のいにしえ街道 ※松前から道北にいたるニシン街道</p> <p>5) これらの歴史の道を連携させて、全エリア的なルートを構成して、地域の魅力をつくりあげたい。</p>	
<p>2. 創意工夫・苦労した点</p> <p>1) 各地域とも連携の必要性は考えているものの、その方法論に苦慮している。</p> <p>2) シーニックバイウエイの活動を軸に個々の地域の歴史の道の活動も周知され、相互参加も生まれてきた。</p> <p>3) 個々の歴史を一層学び合い、相互理解する必要がある。</p> <p>4) 全時代的な歴史の道をどのように組み合わせるかも課題である。</p> <p>5) 地域の人々に歴史の道の重要性と魅力を理解してもらう努力が必要である。</p> <p>6) 同時に各地域の行政との連携も一層図る必要がある。</p>	